

学位論文及び審査結果の要旨

横浜国立大学

氏名	ALAM SAYEDA SAIKA BINTE
学位の種類	博士（工学）
学位記番号	都市博甲第2025号
学位授与年月日	2018年9月14日
学位授与の根拠	学位規則（昭和28年4月1日文部省令第9号）第4条第1項及び横浜国立大学学位規則第5条第1項
学府・専攻名	都市イノベーション学府 都市イノベーション専攻
学位論文題目	A Study on Dwellers' Satisfaction with Slum Rehabilitation Scheme Apartments and Its Improvement in Mumbai, India
論文審査委員	主査 横浜国立大学 准教授 松行美帆子 横浜国立大学 教授 中村文彦 横浜国立大学 教授 高見沢実 横浜国立大学 准教授 田中伸治 横浜国立大学 准教授（特任教員） 崔瑛

論文及び審査結果の要旨

本論文は、インド・ムンバイにおけるSlum Rehabilitation Scheme（SRS）を対象とし、SRSにより建設されたアパートの住民のアパートに対する満足度、満足度を規定する要因を明らかにし、住民の満足度を高めるための方策を提案し、バングラデシュ・ダッカにおけるSRSの適用可能性について検証を行ったものである。

第1章では、研究の背景、目的、方法論、本文の構成を説明している。

第2章では、既往研究の整理をした上で、本研究の位置づけを示している。

第3章では、ムンバイにおけるスラムに対する方策の変遷、SRSの概要をまとめている。

第4章では、インドにおけるスラム住民の居住権確保のための方策の歴史をまとめている。

第5章では、ムンバイの3地区においてSRSアパートの住民へのアンケート調査の概要をまとめている。

第6章では、アンケート調査の分析の結果、住民の満足度が高いことが明らかになったことを示している。また、共分散構造分析の結果、管理への満足度が最も住民の満足度へ影響していることを示している。

第7章では、各アパートの管理組合へのヒアリング調査、住民へのヒアリング調査によって、より満足度の高い管理のメカニズムの検証を行っている。

第8章では、ダッカの都市計画の専門家へのインタビュー調査、SRS実施に関わる3つのステイクホルダーへのインタビュー調査、ディベロッパーへのアンケート調査の結果により、SRSのダッカへの適用可能性について検証している。

第9章では、結論としてSRSをより住民の満足度が高いものとするための提言及びダッカへのスキーム移転の可能性とその課題をまとめている。

SRSはその住環境の悪さより多くの研究者やNGOによって批判されてきた。本研究は、それらの議論に対して、今まで実施されてこなかった住民への調査により満足度が高いことを明らかにし、かつ満足度には批判されてきた物理的環境ではなく、アパートの管理が大きく影響していたことを示したという点で新規性と、学術的に高い価値がある。さらに、管理の向上についての提言を行い、実務における知見の適用も見込まれる。従って、本論文は博士（工学）の学位論文として価値があるものと認められ、審査委員全員一致して合格と判定した。

提出された論文に対して、iThenticateにより既往文献との重複の有無を確認したが、専門用語や一般的な事項の定義、参考文献の表題を除いて既往文献との重複はなく、剽窃、盗用の不正行為はないことを確認した。

平成30年8月1日10時30分より、審査委員全員が出席して建築学棟8階南北スタジオにおいて公聴会、同11時20分より審査委員会が開催され、学位論文の内容の発表と質疑応答

を行った。その後、同室において学位論文の審査を行った。その結果、本論文は学位論文に相応しい内容を有しており、質疑にも的確に対応していると判断された。また各審査委員より、関連する建築工学の科目に関する口頭試問を行い、博士（工学）の学位を得るにふさわしい学力を有すると判定した。また、修了に必要な単位は取得済みである。

外国語については、学位論文が英語で書かれており、英語による査読付き論文の執筆や国際学会への論文投稿・口頭発表実績から、十分な英語力を有していると判定した。

対外発表論文として以下を確認した。

ALAM, Sayeda Saika Binte, and Mihoko MATSUYUKI. "Applicability of Land Sharing Scheme to Korail Slum, Dhaka, Bangladesh." *Urban and Regional Planning Review* 4 (2017) : 151-167. (Reviewed)

ALAM, Sayeda Saika Binte, and Mihoko MATSUYUKI. "Dwellers Satisfaction on Slum Rehabilitation Scheme; SRS and its Affecting Factors in Mumbai, India." *Urban and Regional Planning Review* 5 (2018) : 67-86. (Reviewed)

以上より、当該学生は建設工学の分野において博士（工学）の学位を得るにふさわしい学識を有するものと認められるため、審査委員会として最終試験に合格であると判定した。

注 論文及び審査結果の要旨欄に不足が生じる場合には、同欄の様式に準じ裏面又は別紙によること。